

令和 3 年 9 月 30 日
日本工学院専門学校

学校関係者評価結果

本年度においては緊急事態宣言後の 9 月に学校関係者評価委員会議を実施した。委員会の中で本校の行った令和 3 年度の自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。評価委員からの主な発言は次のとおりである。

- ・ 総合的には問題なく適切に学校運営がなされていると判断します。
- ・ 大田区との地域連携に積極的に参加されているのが確認できました、さらなる貢献を期待します。
- ・ 文科省委託事業について次回の報告を期待します。
- ・ 新型コロナワクチンの職域接種等については職員、学生の安全を担保したものと判断します、保護者も安心されたのではないのでしょうか。
- ・ 学内のオンライン授業、ネットワーク整備も整いつつあり、さらなる発展を期待します。
- ・ 学園祭、卒業展とアフターコロナにむけて新しい教育成果発表の場を検討いただきたい。
- ・ 新型コロナウイルス禍により停滞していた校友会の活動再開を期待します。
- ・ 卒業生管理システムの構築を期待します。

自己評価についてすべてこれらの通りであり納得した、この内容にて了承する。

以上

令和3年9月30日

日本工学院専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 桂田 忠明 様

日本工学院専門学校
校長 千葉 茂

令和3年度の学校関係者評価委員会において討議された内容をふまえ、以下について検討していきます。

1. アフターコロナに向けて今後必要とされる教職員の仕事のありかたについて検討するとともに、学生がより安全に授業を受講できる環境整備を整えてまいります。
2. アフターコロナにむけ安全に授業ができる学内のインフラ整備を引き続き整備していきます。
3. 教育の質を担保できる教員のスキルアップ、教育教材について引き続き検討していきます。
4. インフラ整備だけではなく対面授業・オンライン授業における教育の質の担保も継続的に研究、検討していきます。

以上